

第26回

# 今庄 そばまつり



5月26日、今庄365スキー場で第26回今庄そばまつりが開催され、家族連れなど県内外から約18,000人が訪れにぎわいました。

会場には、各集落や地域、団体などが独自の手打ちそばの味を披露する20のそば店が軒を連ね、各店舗とも、趣向を凝らしたそばを提供していました。どの店も長蛇の列となる盛況ぶりです。訪れた人たちはそば店スタンブラーに参加しながら、店ごとに少しずつ異なる味わいのそばを堪能していました。

そばうち体験には約60人が参加。親子でそば粉をこねたり、打ったそばを包丁で切ったりと初めての体験に戸惑いながらも楽しんでいました。

木の芽城塞廻りツアーには24名が参加。ボランティアガイドによる木ノ芽峠の歴史や言奈地蔵の言い伝えの説明を参加者らは感慨深く聞いていました。

ステージでは、地元芸能の日本舞踊や今庄羽根曾おどり、空手演武、山里海PR隊によるクイズタイム、恒例となったそばの早食い大会が行われました。また、大泉逸郎歌謡ショーも開かれ、会場は大いに盛り上がりしました。



## 恒例! そば早食い大会



負けないぞ!  
けどおなかいっぱい(汗)

たくさん  
食べるよ!



自分で打った  
そばは美味しいね



第17回

# 河野うめまつり

恒例の河野うめまつりが6月16日、河野シーサイドパーク駐車場で開催され、梅の加工品や海産物など地区の特産品の販売、また梅にちなんだ催しや体験イベントが行われました。

毎年人気の梅もぎ体験には、約100人が参加。5月以降の降雨が少なかった影響から今年の梅は例年と比べるとやや小粒とのことですが、参加者らは「今年はどんな梅干しに仕上がるか」とこの品種は梅酒に合うかと収穫後の思いを巡らせながら、カゴが一杯になるまで収穫を楽しみました。

梅干しの種を口から飛ばしその飛距離を競う、うめぼしのたね飛ばし長距離王決定戦では13m近くまで飛ばす選手もあり、口から発射された種が大きな弧を描き、ぐんぐん飛距離が伸びると会場は大きな歓声に包まれました。

青梅早つまみ競争では、塗り箸幼児はスプーンを使い制限時間内に梅をカゴに移した数量を競い、出場した子どもたちは器用な箸さばきで落ち着いて梅を移し替えていました。

